

平成30年度 第2回学校関係者評価委員会兼学校活性化対策委員会 報告

1 日 時；平成31年2月21日（木）13：30～15：00

2 会 場；本校視聴覚室

3 出会者；学校関係者評価委員兼学校活性化委員 7名，本校職員 19名

4 内容

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 本年度の活動状況等について（各課程より）

※ 第1回学校関係者評価委員会で確認した各課程・各部の「今年度の重点目標及び具体的な取組」の反省等を踏まえて今年度の活動状況と次年度に向けた課題について報告する。

(4) 学校評価アンケート結果報告（各課程より）

※ 通信制課程の生徒による評価のアンケート結果については，第2回学校関係者評価委員会までに集計が間に合わないので，例年，次年度の第1回学校関係者評価委員会で報告している。

(5) 質疑・意見交換

(6) 閉会の言葉

5 質疑・意見交換での発言等

【全日制課程について】

- ・ 全日制は国・数・英3教科の時間割固定化で単位修得率が上がったということだったが，固定化とは具体的にはどういうことか？
- 入学年次で，国・数・英3教科の必履修科目をあらかじめ固定（月3校時と木1校時に国語総合，火1校時と金3校時に数学Ⅰなど，それぞれ学力別に4つのコースを設定）して選択させ，他の時間に他教科を組むような時間割を作成するように指導している。
- ・ 大学でも自由に時間割を組むことに戸惑う生徒がいるので，必履修科目の固定化は柔軟な対応であると感心した。
- ・ テレビ報道で，やねだん地区との交流や高齢者との交流など，開陽高校の様々な活動（地域創生人材育成プロジェクト）を知り，素晴らしいと感じた。
- ・ 「通級による指導」（以後，「通級」と呼称）について，教えてほしい。
- 高等学校における「通級」は，中学校の特別支援学級のようなクラスを指すのではない。本校の「通級」とは，本校に入学してきた生徒を対象にコミュニケーションなどの困り感を少しでも改善しようとする授業プログラム（通称：「夢・活動」）のことである。入試を実施して合格しているので，授業についていけることが前提であり，教科学習の補充授業といった学力的な対応ではない。また，他校から通学して受講することも想定していない。本校では，入学してすぐに「夢・活動」

- ・ 長期にわたり学習活動に参加していない生徒との関わりはどのようにしているのか？通信制では、家庭訪問はなかなか実施できないだろう。
- 教育相談の案内を送っているが、通信物を見てもらえないことは、今後の課題である。
- ・ 通信制の「聞き合う会」は、水曜日の午後に実施している。参加する保護者は、仕事を休むことができ学校に来ることができる人なので経済的にまだ安定している人である。ほとんどが不登校経験者の保護者であり、話を聞いてみると、学校（前籍校）での支援と受け取る側（生徒・保護者）のギャップを感じる。
- ・ 通信制課程の就職は、ハローワークに直接ということだがどのような状況か？
- 教育相談のために来校されて相談する方もいる。就労支援関係の資料などもあるので、もう少し広報が必要だと思う。学校でハローワークの仕組み等を説明する会を持ってもらえるといい。
- ・ 中学生を対象にした個別相談会は、中学校へも周知されてきたと思われる。不安なく学習へつなげていけることを期待する。

【全課程共通】

- ・ 全国的にも中高校生の自撮り被害（騙されたり脅されたりして、スマートフォン等で撮影した自分の裸の画像を送信させられることにより、性的な被害等にもつながっていること）が問題となっているが、鹿児島県内においても同様の被害が発生している。自分の個人情報（画像等も含む）を簡単にネット上にさらさないなど指導をお願いしたい。
- ・ 昨年度、本校でも不審者の侵入があったが、県下ではどのような状況か？
- 不審者情報は、星ヶ峯東・西陵などあったが、今は減少傾向である。
- ・ 地域貢献やボランティアは、生徒たちの活動したいという気持ちを大切にしながら、付き添う職員の勤務についても（勤務時間外の活動が多いので）考えないといけない。
- ・ 地域住民が開陽高校内に入るのは、開陽祭ぐらいで外からは開陽高校のことがなかなか分かりづらい。開陽高校の施設は立派であるが、西谷山小学校の施設は大きくないことから、校区民との触れ合いという趣旨で、校区の活動（校区内運動会など）のために開陽高校の運動場や体育館などを借用できないか？
- 部活動・スクーリング・学校行事などと調整して都合がつけば、外部の団体等に行事の実施場所（消防設備士の試験会場等）として施設を貸していることもある。即答はできないが、施設・設備利用許可申請書を提出してもらうことにより借用できることもあるので、詳細は事務長に相談してほしい。
- ・ 開陽高校は活性化していると思っていいのではないか。
- ・ 「18歳で成人を迎える」ということが、市P連などで話題に上がっている。学校として、選挙や「成人になる」ことなどをどのような指導をしていくのか？開陽高校は年齢層も広いので、取り組みなど他校に普及していくものがあれば発信していただきたい。
- 全日制の生徒会役員選挙のときは、市の選挙管理委員会から本物の投票箱を借りて実施した。今後も選挙の意義や成人としての社会参画の在り方などを授業や学校行事を通して指導していきたい。
- ・ PTAにCが入ってPTCAと言われる。Cは地域コミュニティのことで、開陽は開かれた学校だと思っている。